

羅針盤

発行
令和4年12月14日
田彦中学校
キャリア教育部

師走を迎え、2022年も残りわずかとなりました。3年生では日立工業専修学校の入学試験が行われ、いよいよ入試シーズンが始まります。何かと気ぜわしい時期になりますが、学校生活では落ち着いて最後のまとめに向かうことができるよう、支援してまいりたいと思います。



12月の進路学習

《第1学年》 『「職業人にお話を聴く会」の準備と開催』

《第2学年》 『上級学校調べ』

《第3学年》 『私立高校入試・県立受検高決定に向けて』

第2学年 職場体験学習

2年生は、先日行った校外学習の中で、職場体験学習を行いました。那須ハイランドパーク内の施設を使用した、アトラクションやレストラン、チケットショップでの研修を通し、接客側の視点と利用者側の視点を同時に体験するという、大変貴重な経験ができました。お礼状の中から、生徒の感想を抜粋してご紹介します。

入退場する場所の職場体験では、一人一人に笑顔でご挨拶することや、トラブルや困っている人に積極的に対応することなど、積極的に行動することがお客様がより快適に過ごせることだと思いました。(省略)他のスタッフさんたちが協力しあっているところを見て、助け合いや、感謝の言葉など、学校で大切なことは職場でも大切になると感じました。(奥山さん)



働いている間に心に残ったことがあります。それは、アナウンスをするときに、「お客様を第一に」と心を込めて読んだ後、お客様が指示に従ってくださったり、アトラクションを楽しんでくださったりしたこと。このとき同時に、普段はこのようにアナウンスだけでなく、お客様のご案内も含めてたった一人でもまわしておりプロはすごいな、働くとはこういうことなのだ、と身にしみて感じました。(小野澤さん)

働いている様子を見たり実際に体験をさせていただいたりしたことで、働くことの大変さがよく分かりました。特に、アナウンスの体験をさせていただいたときは、お客様が聞き取りやすいようにゆっくりと丁寧に話すのが大変でした。上手くできて「合格」と言ってもらえたときはとても嬉しかったです。また、濡れて戻ってくる乗り物を毎回拭き、きれいにすることを一日行うのはとても大変なことだと、一時間ほど体験しただけでも実感しました。しかし、大変なことだけでなく、お客様が笑顔で乗り物に乗ってくださる姿を見て、働くことのうれしさも実感することができました。(小原さん)

実際にお客様を前にしてお仕事をするという貴重な体験をさせていただくとともに、「働く」ということについて深く学び、考えるきっかけとなりました。何よりも、体験をさせていただいた際、お仕事が大変な中でも、職員の皆様がお客様に対して笑顔で接していたことが印象に残っています。そのような皆様のお姿に接し、働く上で、どんな大変なときでも、お客様に対して感謝の心や誠意をもって働くことが大切なのだということを学ぶことができました。また、たくさんのお客様に「ごちそうさまでした。」「美味しかったです。」などと笑顔で言ってもらい、働くことのやりがいや喜びを感じることもできました。(西さん)

第1学年 職業人にお話を聴く会

1年生は、12月20日(火)に「職業人にお話を聴く会」を行います。今年度は警察官、助産師、大学教授の3名を講師としてお招きします。普段聴くことのできない方々からの職業に関するお話を聴くことを通して、将来の可能性や視野を広げるきっかけになればと考えています。ぜひお子様から感想を聞いていただけたらと思います。

第3学年 私立高校・高専入試

3年生は1月からいよいよ入試が本格的に始まります。Web出願になってから3年目になりますが、今年もスムーズに出願ができたようです。各学校の試験日については、第3学年だよりをご覧ください。12月中旬から、各私立高等学校ごとに受験票を印刷できるようになりますので、ご自宅またはコンビニエンスストアで受験票を印刷し、当日試験会場に忘れずに持って行ってください。その他の持ち物については、受験票に書かれていますので、ご確認ください。詳細につきましては、1月に、学年集会の中で事前指導を行います。

茨城高専は、今年度からWeb出願になります。私立高等学校とは違ったシステムになりますので、茨城高専のホームページにある説明をよくご確認ください。

新しい年も
素晴らしい1年になりますように。



